

1. 科目名 (単位数)	社会 (2単位)	3. 科目番号	SJEL3421
2. 授業担当教員	荻原 邦昭		
4. 授業形態	講義、演習、実習等を織り交ぜる。	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>小学校社会科の教科の目標は、「社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を養う」という柱書部分と、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱に沿った資質・能力に関わる具体的な目標で構成されている。本講義では、今回の改訂のねらいと目標、小学校社会科の目標と内容等について学修する。特に、各学年の目標と指導内容の特色等について具体的に検討する中で、習得型の知識と探究による知識活用について学び、社会科と各教科等との関連についても理解を深める。さらに、社会科学習に必要な学び方や調べ方を身に付ける学習や体験的な学習、問題解決的な学習を一層重視する社会科学習の在り方についても検討していく。</p>		
8. 学習目標	<p>「社会」の学習が終了した時点で、学生には下記の目標を達成することが期待される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小学校社会科の意義、目標、及び各学年の目標・内容を理解し、説明できるようになる。 2. 社会生活の内容について、地理(自然・国土・産業)、歴史、公民の各分野の特徴を述べる事が出来る。 3. 小学校社会科の指導計画作成・学習方法や小学校社会科の評価規準について理解し、説明できる。 4. 授業においては、班活動の重要性を理解し、役割を分担し協力態勢のもとで、調査・体験・作業的な学習や話し合い・発表学習ができる。 		
9. アサシメント(宿題)及びレポート課題	<p>【中間レポート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中に扱ったキーワードに基づいた指導事例 ※所定の用紙を使用して作成する。 <p>【期末レポート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選択した学年の中より、一つ内容を取り上げ指導の工夫を述べよ。 ※1,000字～1,200字程度で述べなさい。 <p>【振り返りシート作成】</p> <p>毎授業のまとめを行い、定期的に提出し、添削を受ける。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 文部科学省『小学校学習指導要領解説 社会編』(日本文教出版)</p> <p>【参考書】 文部科学省『小学校学習指導要領解説 総則編』(東洋館出版社) 地図帳『楽しく学ぶ小学生の地図帳』帝国書院。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準 目標の実現度において評価する。</p> <p>○評定の方法 日々の授業態度、参加度 40% レポート課題 60%</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>小学校社会科の目標である「公民的資質の基礎」を養うためには、地域社会や我が国の国土、産業、歴史などに対する理解と愛情を育て、社会的な見方や考え方を養うとともに、問題解決的な学習を一層充実させ、子どもたちが社会との望ましいかわり方や社会のなかでどう生きるのかを学ぶことが重要である。このため、本科目では小学校社会科の学習指導要領の内容を踏まえつつ、今日の社会科の課題や授業のあり方を学ぶこととする。</p> <p>そこで本科目では次のことを遵守することを望む。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 緊張感と集中力をもって受講する。 2 質問、発表を積極的に言い、主体的に取り組む。 3 欠席、遅刻、早退をしない。 4 勝手な退室、講義と無関係な振る舞い、私語、居眠り、スマートフォンの操作などを慎む。 <p>教員は次のことを実行する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 講義のねらいを明確にし、シラバスに沿って講義する。 2 声の大きさや話し方など受講者の立場に立って講義する。 3 討議や発表など受講者が講義に参加できる環境に配慮する。 4 受講者の質問には誠実に対応する。 		
13. オフィスアワー	授業時間内に通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 小学校の学習指導要領改訂の基本方針、要点 社会科改訂の趣旨、要点及び目標 グループ作り	事前学習	学習指導要領改訂の経緯を調べる。
		事後学習	学習指導要領改訂の基本方針、要点、社会科の改訂の趣旨、要点などについてまとめること。
第2回	第3学年の目標と内容 第3学年の目標と内容構成	事前学習	第3学年の学習内容を調べる。
		事後学習	第3学年の目標(理解・態度・能力・技能)と内容を理解し、その内容構成をまとめること。
第3回	第4学年の目標と内容	事前学習	第4学年の学習内容を調べる。

	第4学年の目標と内容構成	事後学習	第4学年の目標（理解・態度・能力・技能）と内容を理解し、その内容構成をまとめること。
第4回	第5学年の目標と内容 第5学年の目標と内容構成	事前学習	第5学年の学習内容を調べる。
		事後学習	第5学年の目標（理解・態度・能力・技能）と内容を理解し、その内容構成をまとめること。
第5回	第6学年の目標と内容 第6学年の目標と内容構成	事前学習	第6学年の学習内容を調べる。
		事後学習	第6学年の目標（理解・態度・能力・技能）と内容を理解し、その内容構成をまとめること。
第6回	指導計画の作成と内容の取扱い 観察・調査・見学の一層の充実 言語活動の重視 博学連携・専門家や専門機関との連携 コンピュータや地図帳の活用	事前学習	指導計画の作成と内容の取扱いについて考える。
		事後学習	社会科の指導計画の作成と内容の取扱いについての要点をまとめることができる。 ・「振り返りシート」を提出する。
第7回	社会科授業改善のキーワード1 キーワードに基づいた指導事例の選択と作成 キーワード①社会の形成に参画する資質や能力の育成 キーワード②思考力・判断力・表現力を育む言語活動の充実 キーワード③知識・技能の確実な習得と活用 キーワード④作業的、体験的学習の充実 キーワード⑤伝統や文化の継承と発展 キーワード⑥問題解決的学習の充実 キーワード⑦主体的・対話的な学習の充実	事前学習	キーワードの意味を考える。
		事後学習	授業改善の観点から提示されたキーワードの意味をつかみ、興味あるキーワードを選択する。
第8回	社会科授業改善のキーワード1 キーワードに基づいた指導事例の作成	事前学習	キーワードに基づいた指導事例を考える。 必要な資料を収集する。
		事後学習	指導事例を作成することができる。
第9回	社会科授業改善のキーワード2 キーワードに基づいた指導事例の発表と相互評価1	事前学習	発表準備を行う
		事後学習	個人で発表を行い、相互評価を行う。
第10回	社会科授業改善のキーワード3 キーワードに基づいた指導事例の発表と相互評価2	事前学習	発表準備を行う。
		事後学習	個人で発表を行い、相互評価を行う。
第11回	社会科授業改善のキーワード4 キーワードに基づいた指導事例の発表と相互評価3	事前学習	発表準備を行う。
		事後学習	個人で発表を行い、相互評価を行う。 「振り返りシート」を提出する。 「レポートを提出する」
第12回	社会科における評価1 評価の機能と形態 評価の観点と方法 評価問題の事例検討	事前学習	社会科の評価について考える。
		事後学習	評価の機能や社会科における評価の方法などをワークシートにまとめること。
第13回	社会科の学習活動 思考ツールの実際と作成	事前学習	思考ツールの種類は何か考えておく。
		事後学習	社会科で使用できる思考ツールについてワークシートにまとめること。
第14回	社会科の学習方法1 ディベート等の討論学習 問題解決的学習 探求学習・発見学習	事前学習	社会科の学習方法のいくつかを考える。
		事後学習	ディベートの準備を行うこと。
第15回	社会科の学習方法2 ディベートの実践	事前学習	ディベートを各グループにて準備する
		事後学習	ディベートの結果を反省する。 ・「期末レポート」を提出する。 ・「振り返りシート」を提出する。
期末試験			